

りんご

脚本・演出 = 田辺剛 (下鴨車窓)

美術 = 乗峯雅寛 音楽・音響 = ノノヤママナコ 照明 = 御原祥子 衣裳 = さくま晶子

Message

人はどうしたら大人になれるのか？
かつてあった「大人になるため」のイニシエーションも、獲得したい役割や技術を目の前で見せてくれる大人も少なくなったこの国では「大人になる」という実感を持ちにくのではないのでしょうか？ 加えてここ10年で加速しているメディアの発達は、身体を伴う他者との関わりや実体験を激減させました。誰でも一瞬にして世界中の人と情報交流が出来るようになった反面、無限に広がる可能性と自由を持て余し膨大な選択肢の前で立ちすくんでいる子どもたちが沢山いるように思います。

「大人になる方法」さえもスマートフォンで検索してしまうかもしれない子どもたちに、人間同士の関わりがなくては成り立たない演劇を体験して欲しい。そして舞台上の人物と一緒に迷い驚き「人間は面白い!」と実感して欲しい。この実感こそが人生を創り上げてゆく源であると私達は信じています。

子どもたちと共に46年間舞台を創り上げてきた劇団うりんこが渾身の人間力で捧げる舞台です。

Story

高校2年生のユウキは、自宅の庭に祖父が建てた物置に半ば引きこもっている。

部活はやめた。進路は見えない。

孤島のような物置には電気も家具もある。

通販サイトでポチっとすれば、宅配も届く。

雨が強く降るある夜、近所には避難警報も出ているがユウキはずっと物置にいた。夜が明けると周囲は一変していた。まるで物置ごと違う場所に移動したようだ。ユウキが住む物置は、その後もさまざまな場所へと旅をする。

フリーターのミキは、とある仕事に採用される。現場での力仕事らしい。暴風雨の中現場に向かうミキの目前で、バイトの一人が暴風の犠牲となる。かなりブラックなバイトだ。バイトの現場は、あらゆる場所を転々とする。

否応なしに旅に連れ出された高校生ユウキと、行きがかりでブラックバイトに引きずり込まれたミキが、多種多様な他人の言い分や生き方を見聞きし、一歩踏み出す物語。